

質問に対する回答について
工事名）常磐自動車道 相馬工事

質問事項と回答

番号	質問事項	回答
1	特記仕様書 2-6-1 捨土掘削 捨土掘削 土砂 A1 の作業内容には、「相馬仮置場への土砂の運搬を行うもの」とあります。一方、捨土掘削 土砂（表土）A 1 と捨土掘削 軟岩Aの作業内容には、「相馬仮置場への運搬、敷均しを行うもの」とあります。これは、土砂は敷均し不要で、土砂（表土）と軟岩Aは敷均しが必要との理解でよろしいでしょうか。	特記仕様書に記載の通りです。
2	特記仕様書 4. 材料調達に伴う変更について、碎石骨材の裏込め材、フィルタ一材は、再生材を想定しているかご教示ください。	特記仕様書 18-1 再生資材の使用に記載の項目を再生資材として想定しています。
3	特記仕様書 27-5-1 構造物掘削について埋戻し土は、相馬仮置場から運搬する計画かご教示ください。	特記仕様書 27-1 に記載の通り、現場内での埋戻しを計画しており、現場内で処理できない発生材を相馬仮置場に運搬する計画です。
4	大野台希望の橋（下部工）設計図 65 頁 P5 橋脚配筋図(7)について、下部工施工高が 31.7m なので、P3, P4 橋脚配筋図(7)の通り、 $H \leq 25m$ と $25m < H$ に分けて集計しなくてよろしいでしょうか。	施工基面からの高さより、必要であれば区分するものであり、P5 橋脚については区分する必要がない橋脚となります。

5	<p>かやぐらばし(下部工)設計図1頁の下部工数量総括表について、P1 橋脚の型枠 C 253.3m² にはフーチングの型枠数量が計上されていません。</p> <p>フーチングの型枠施工費はどこに計上すればよいかご教示ください。</p>	<p>下部工数量総括表のかやぐらばし(下部工) P1 橋脚 型わく C 253.3 m² は誤りです。328.1 m² が正となります。</p> <p>したがって単価表の型わく C の数量は 15,165.0 m² が正となります。</p> <p>なお、単価表、数量明細表、設計図については訂正いたします。</p> <p>後日、訂正公告をご確認ください。</p>
6	<p>信田橋 設計図 頁に、信田橋 A1 橋台の場所打ちコンクリート杭のコンクリートは呼び強度 40N/mm² と記載がありますが、呼び強度 30N/mm² の Y1-1 のコンクリートではないと理解してよろしいでしょうか。</p>	<p>その通りです。</p> <p>なお、コンクリートの品質基準は下記のとおりです。</p> <p>材齢 28 日における圧縮強度 (N/mm²) : 40</p> <p>スランプ (cm) : 18 ± 2.5</p> <p>空気量 (%) : 4.5 ± 1.5</p> <p>粗骨材の最大寸法 (mm) : 20, 25</p> <p>セメントの種類 : N、B B</p> <p>最小単位セメント量 (kg/m³) : 350</p> <p>最大塩化物量 (C1-) (kg/m³) : 0.30</p> <p>特記仕様書については訂正いたします。</p> <p>後日、訂正公告をご確認ください。</p>
7	<p>割掛対象表参考内訳書 工事用機械分解組立費 B1について、「クローラクレーン(油圧駆動式ワインチ・ラチスジブ型) 100t - 1台」とは、「クローラクレーン(油圧駆動式ワインチ・ラチスジブ型) 100t - 1台 - 1往復」を意味するのでしょうか。</p>	<p>貴社の施工計画に基づき必要な費用を計上してください。</p>